

ケッティーのFX講座

第4回

逆張りの極意

By ケッティー

注意事項

■著作権について

本冊子と表記は、著作権法で保護されている著作物です。

本冊子の著作権は、発行者にあります。

本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

■使用許諾契約書

本契約は、本冊子入手した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

第1条 本契約の目的:

乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第2条 禁止事項:

本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、この書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

第3条 損害賠償:

甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合がございますのでご注意ください。

第4条 契約の解除:

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

第5条 責任の範囲:

本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても一切の責任を負いません。

レンジ相場とは



各テクニカル指標から読み取るレンジ相場の状況

MA：一方向に傾きがある訳ではなく、小刻みに波を描くか、横ばいに推移している。

BB：大きくエクспанションすることはない、スクイーズ場面がある。

ミドルラインはMAと同様。

雲：雲の中に潜ったり、絡んだりしていて、抵抗帯としての機能は薄れている。

レンジが発生する場面は買いと売りが拮抗していてエネルギーを貯めている状況で、レンジ上限と下限に水平線を引くことができ、そのライン内で行ったり来たりしている状況をレンジ相場と言います。

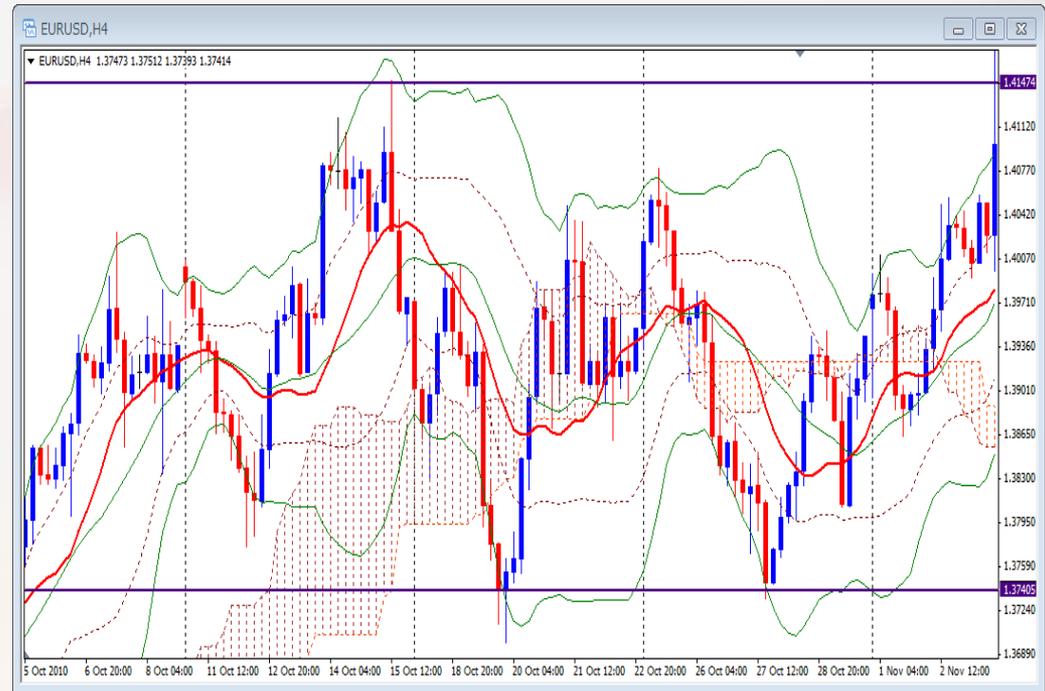
レンジ相場は次にどちらの方向へ動くか準備をしている期間なので、レンジが長ければ長いほどエネルギーを貯めていると言えます。そしてレンジ相場の種類は2種類に大別します。

①値幅が大きなレンジ相場

②値幅が小さいレンジ相場

②の値幅が小さいレンジ相場は第5回のBOX圏でのチャートパターンにて解説致します。

①値幅の大きなレンジ相場



値幅の大きなレンジ相場の目安

- ・ ボラティリティー（高値・安値の幅）が100pips以上ある状況で上下一定の間を行ったり来たりする。
- ・ 短期足ではトレンドが発生している局面がある。
- ・ トレンドが出ていないので、MAやミドルラインは支持帯や抵抗帯としての機能は低い。

値幅の大きなレンジ相場のエントリーポイント①



値幅の大きなレンジ相場のエントリー手法

・ 直近のトレンドと同じ方向のみでエントリーをする方法 (グリーン○のみ)

上昇トレンド→ロング (買い) エントリーポイントのみ

下降トレンド→ショート (売り) エントリーポイントのみ

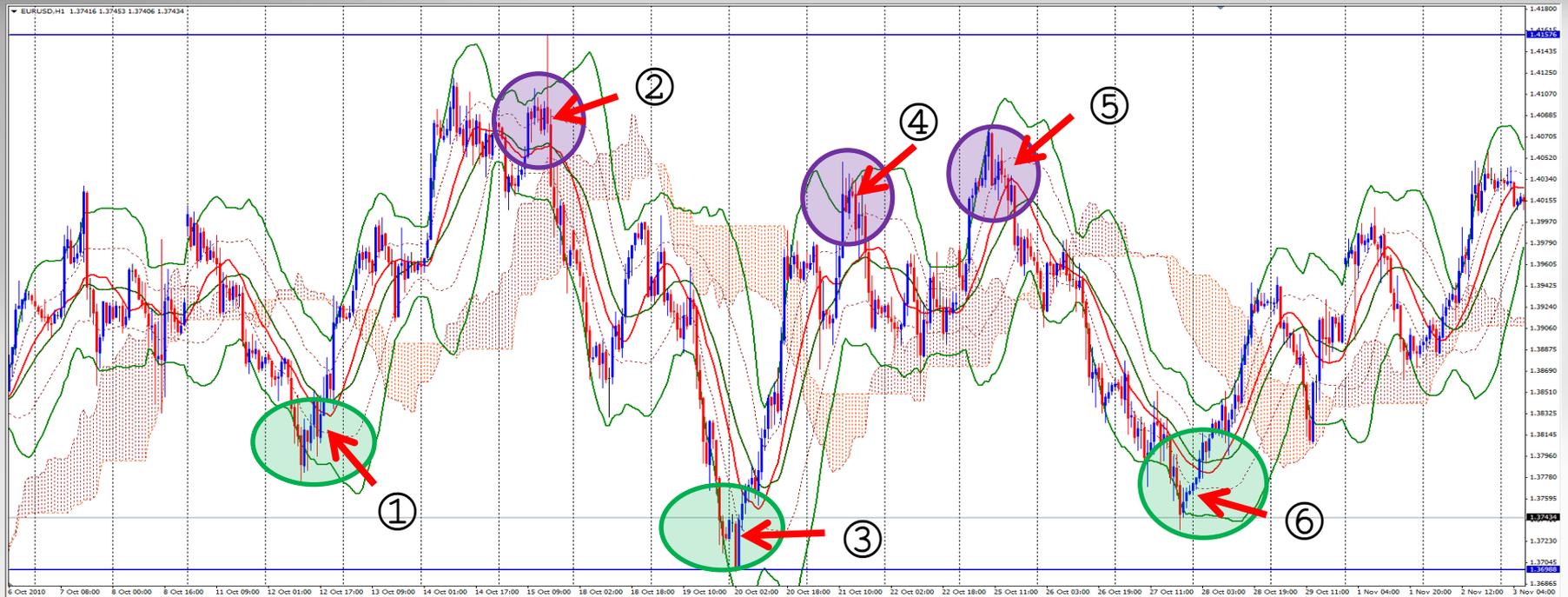
※この手法は直近のトレンドが継続する場合にはそのままポジションを保有して利益を伸ばせる可能性があり、精神的にも楽な手法

・ 直近のトレンドの流れも意識するが、数日の揉みあいでは上下でエントリーする手法。

※この手法は上下のレンジで利益を取っていくので、レンジ相場で沢山利益を抜き取ることができる。

トレンド転換が起きたときにはとても美味しい場面でエントリーしていることになる。
→トレンド転換で攻める時と同じ発想となることは覚えておきましょう。

値幅の大きなレンジ相場のエントリータイミング



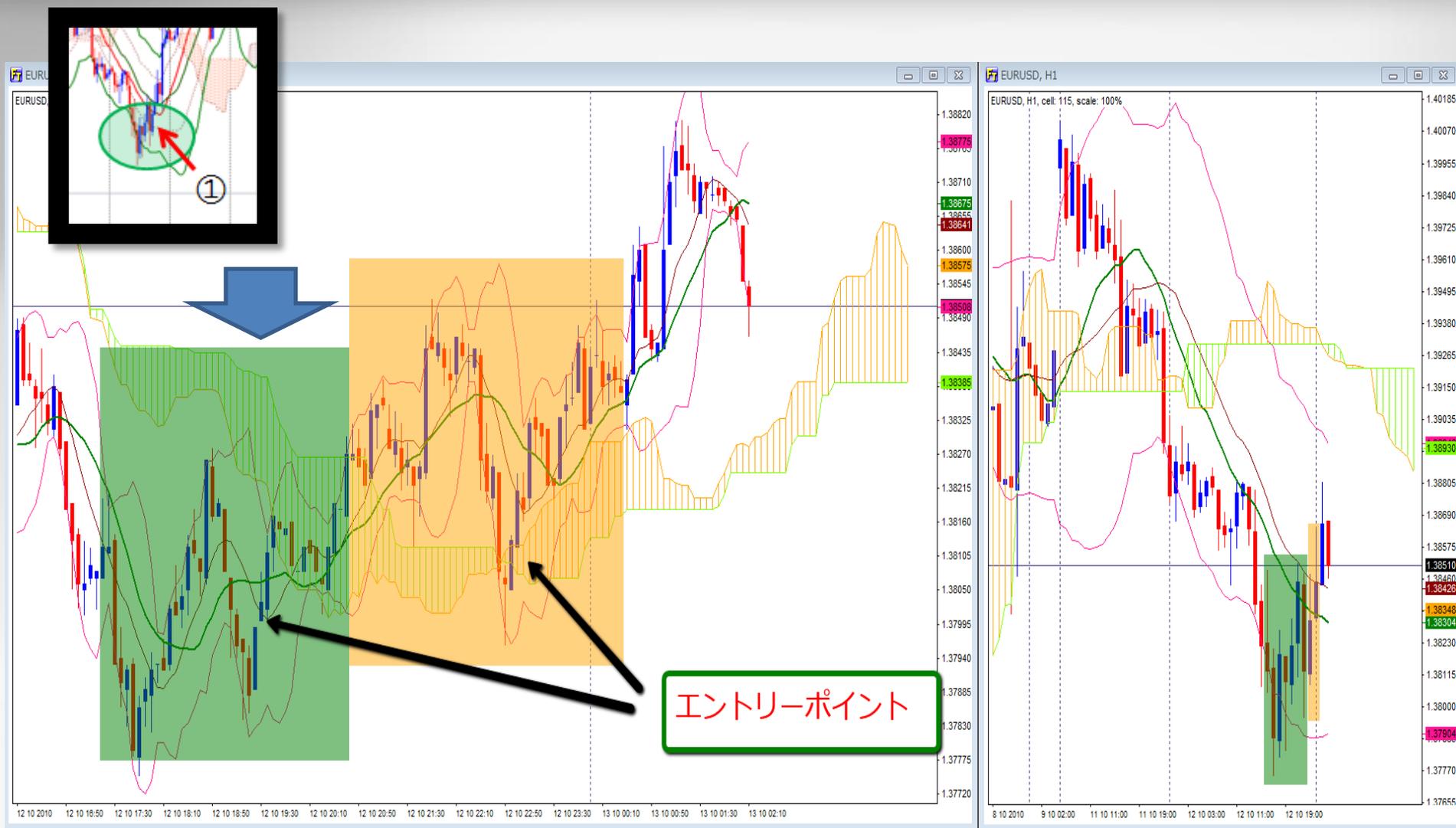
値幅の大きなレンジ相場でのエントリータイミング

- ① $\pm 2\sigma$ をはみ出て、少し内側に入り、直近高値越え、直近安値割れをできなかったタイミング。（＝短期足で見るとトレンドの終了を確認できた所）
※2回、3回の山や谷を付ける時もあるれば、1回の山で反対の方向に行く時もある。
- ② 長期足で反転を示す確率の高いサイン（上ヒゲ、下ヒゲ）を付けた時の次の足。

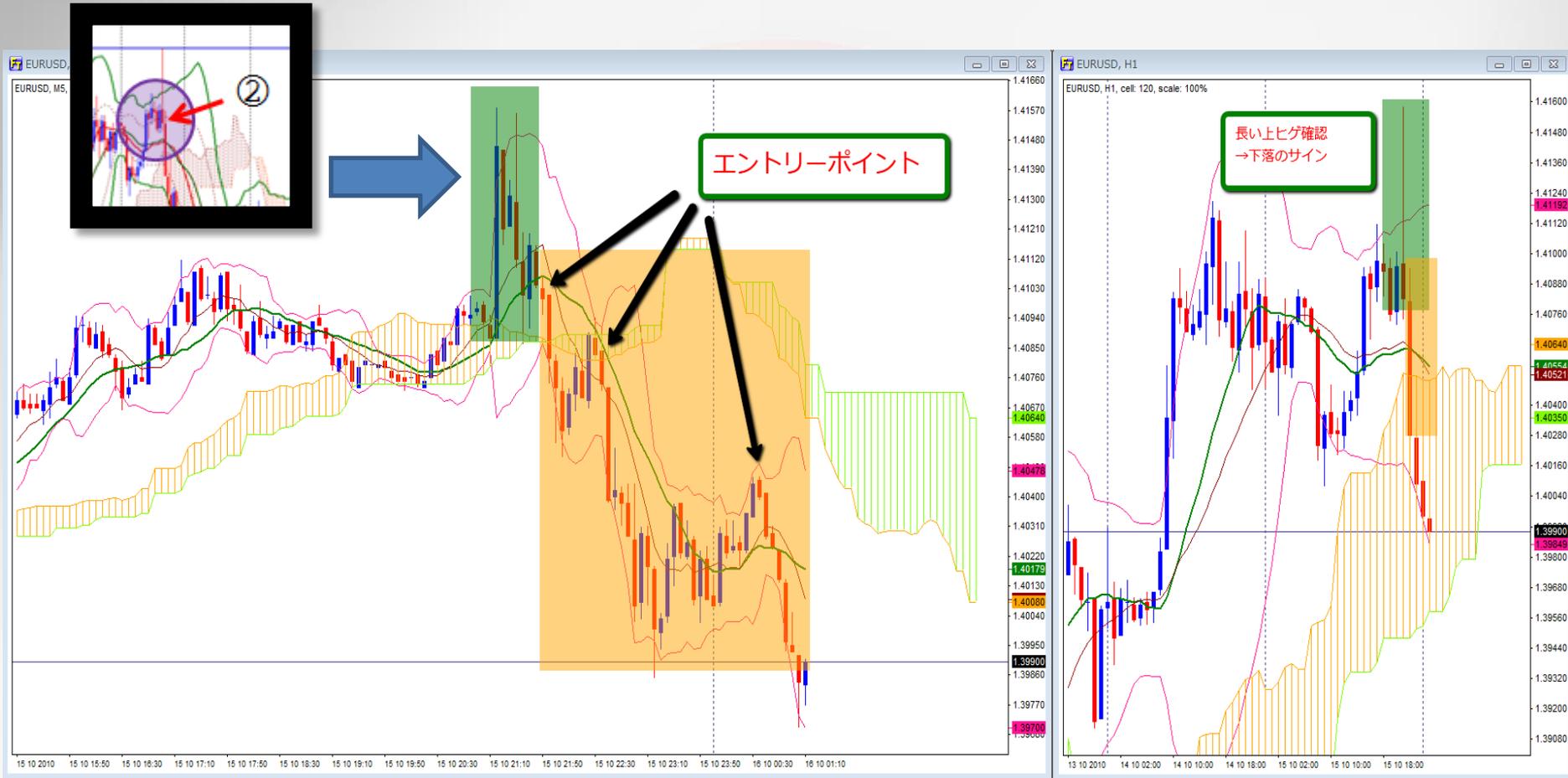
※注意点※

順張り(トレンドフォロー)のエントリーポイントとは真逆の発想で入らなければならないので、順張りの考え方は捨てるように。しかし、短期足で見るとトレンドの終了から新たなトレンド発生ポイントで乗るタイミングでもあるので短期足でエントリーを測る時は直近のトレンドの終了を認識してエントリーを心がける。

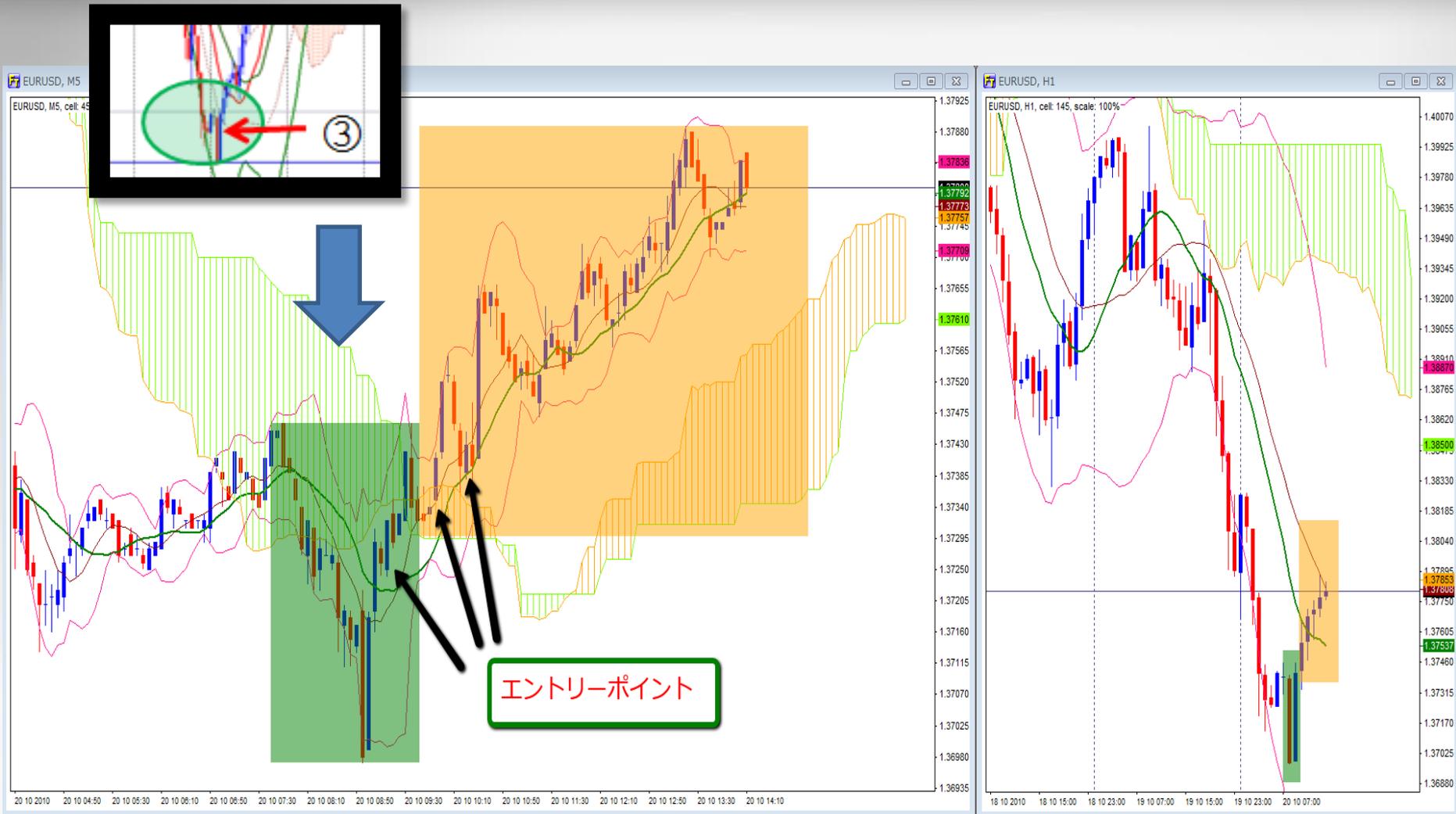
エントリータイミング①



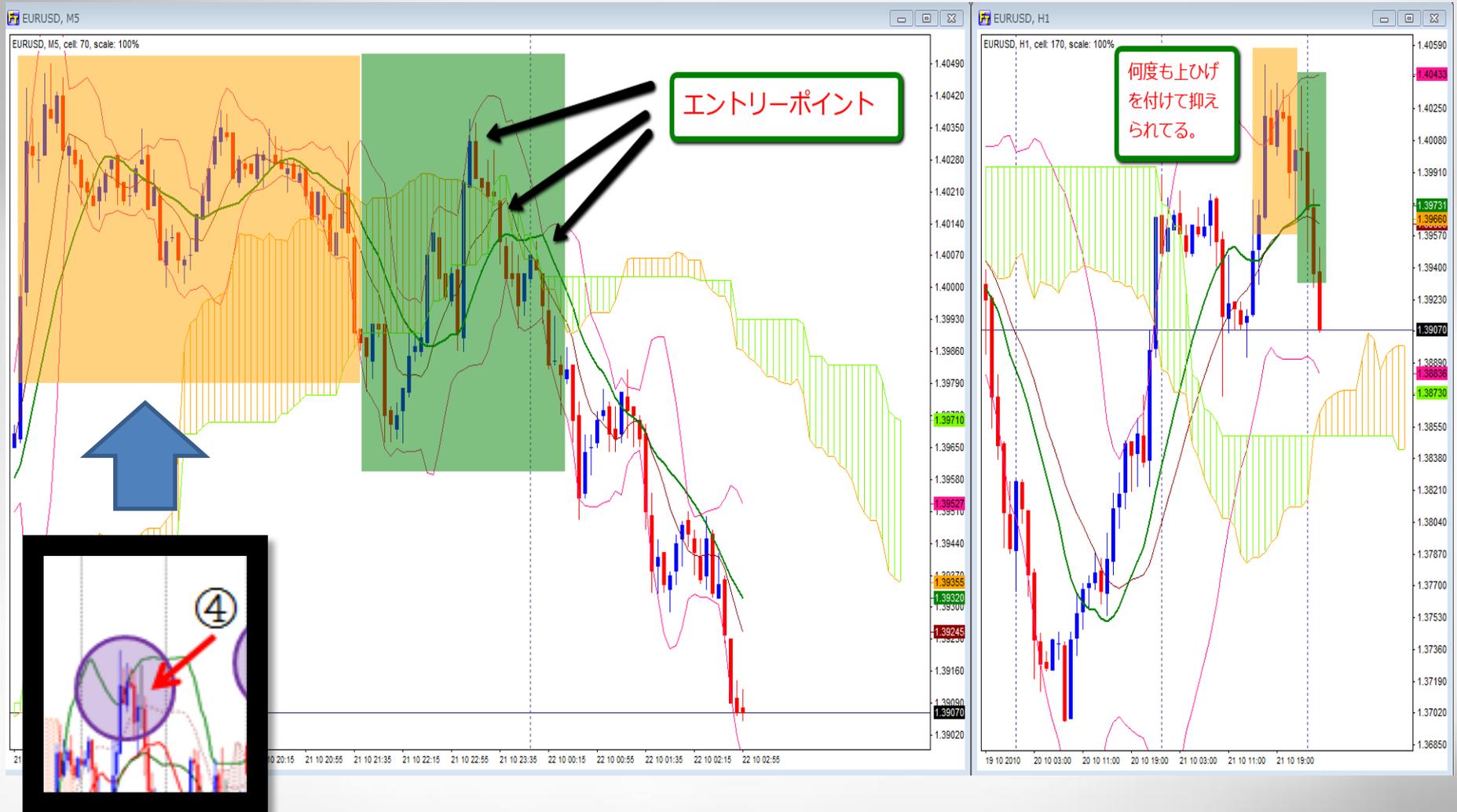
エントリータイミング②



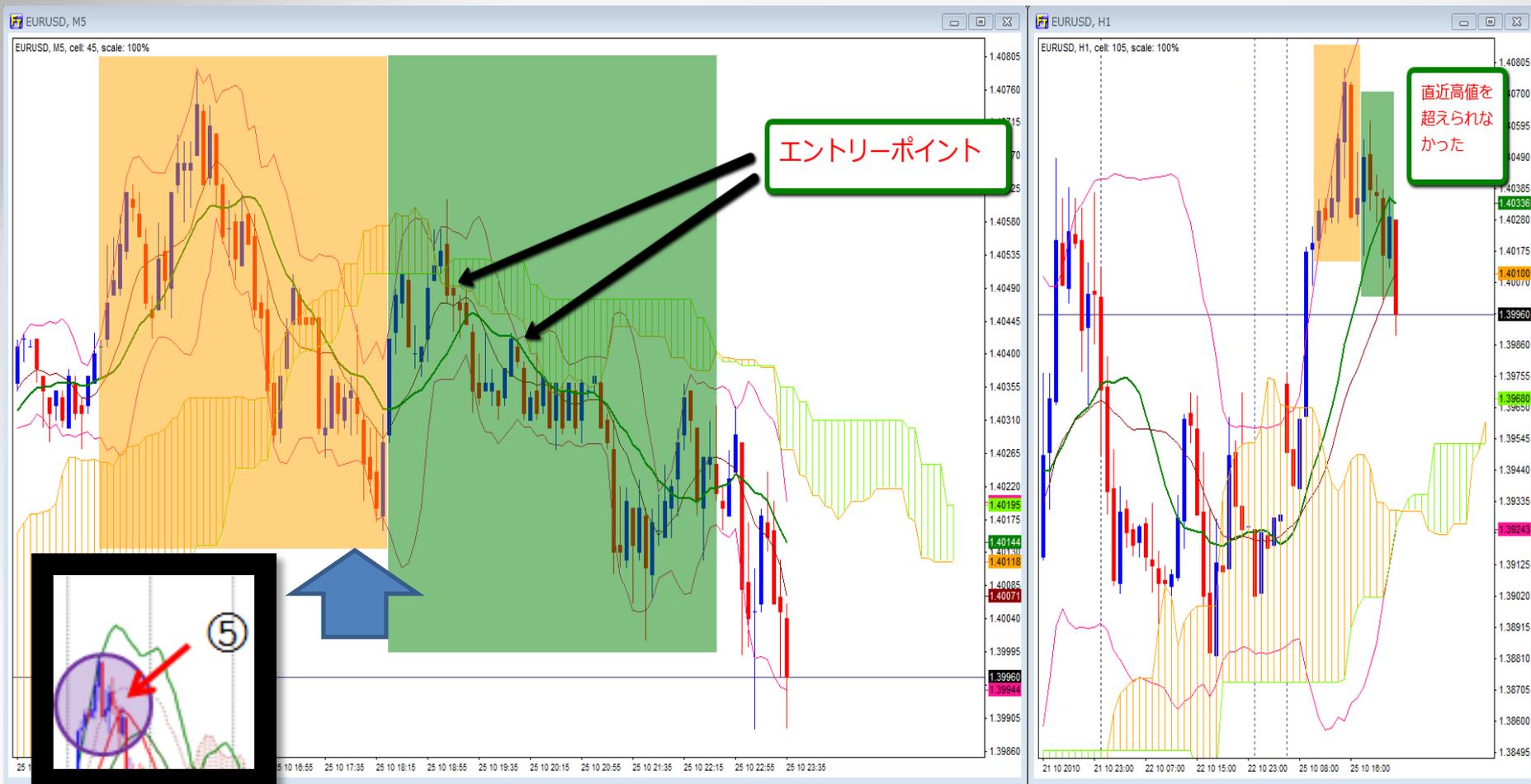
エントリータイミング③



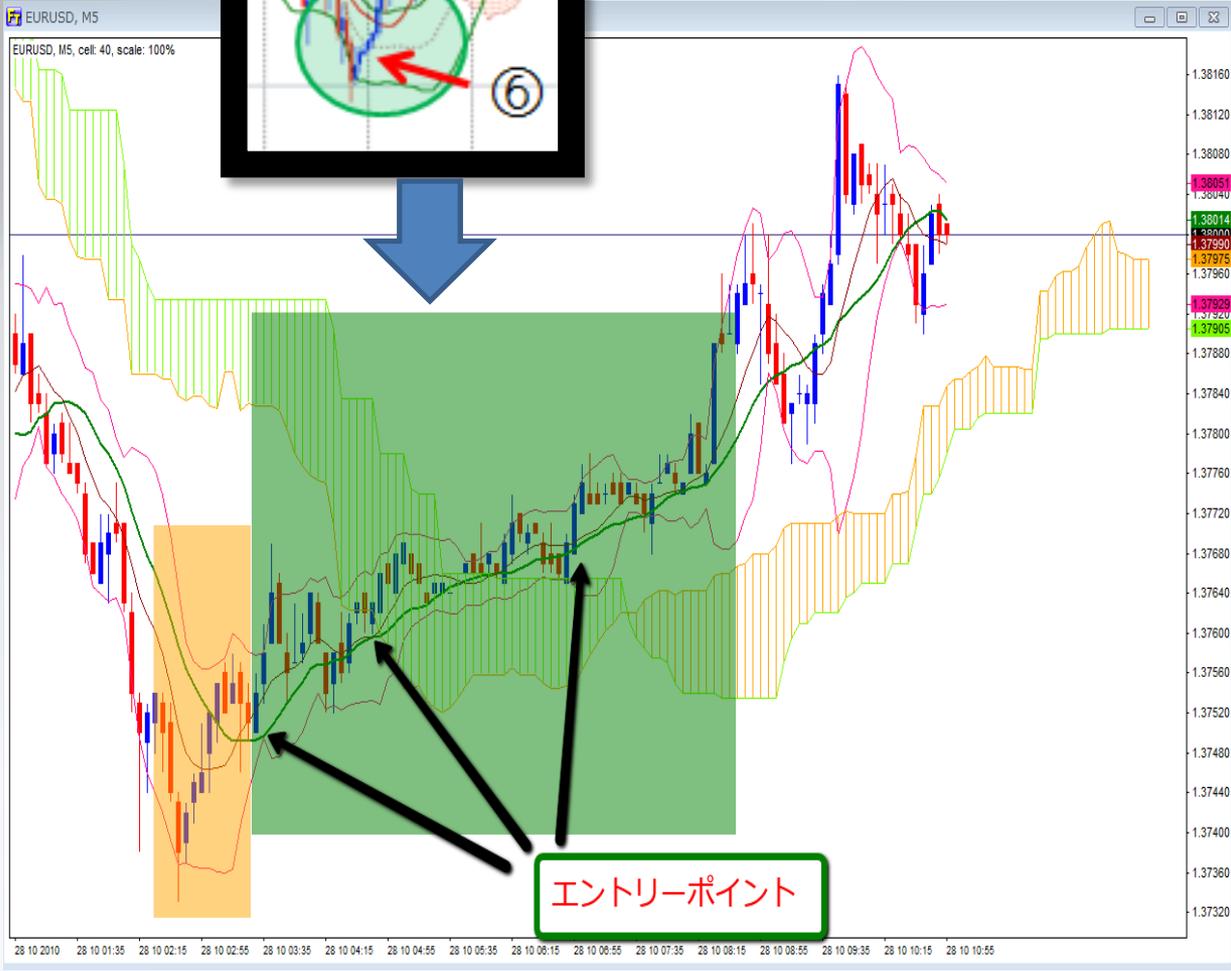
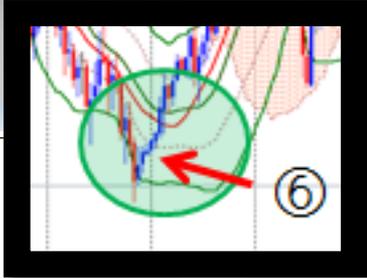
エントリータイミング④



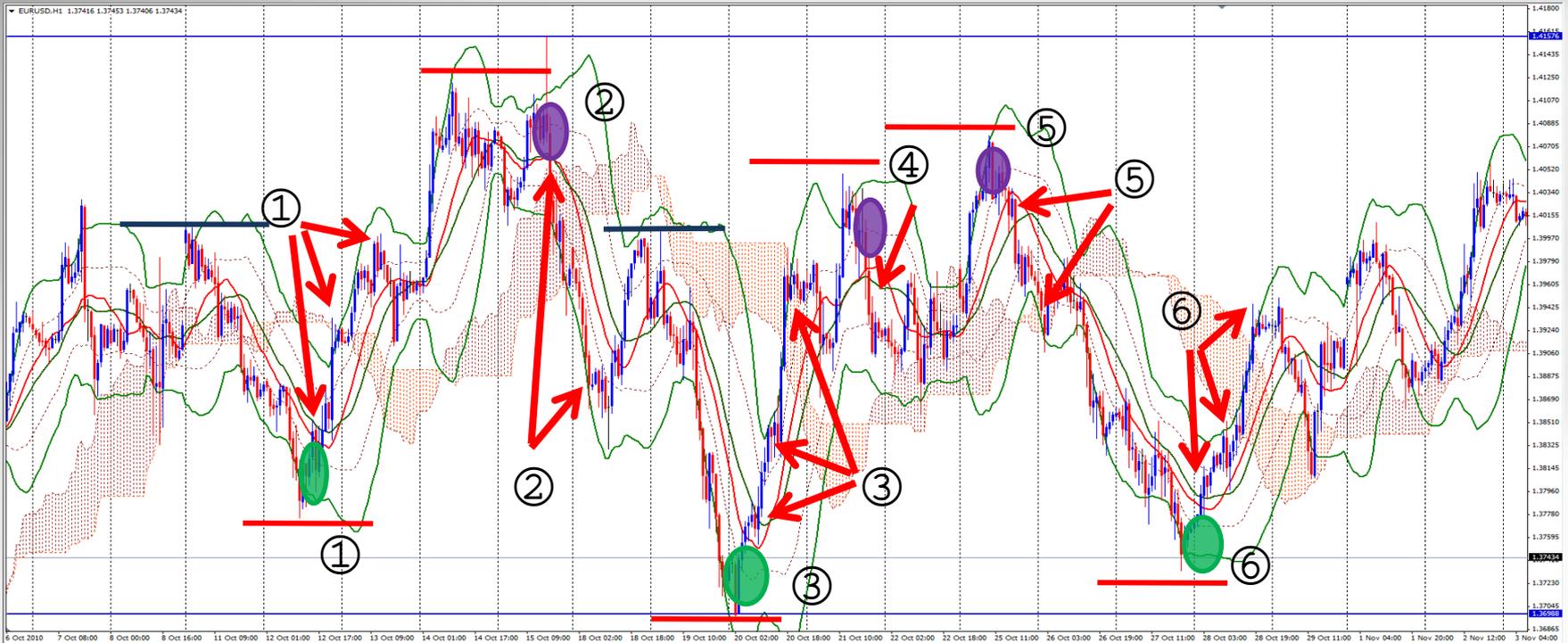
エントリータイミング⑤



エントリータイミング⑥



値幅の大きなレンジ相場の損切り値と利確値のポイント



値幅の大きなレンジ相場での損切り値のポイント（赤ライン）
① エントリーした値の付近の最高値・最安値から少し離れた所

値幅の大きなレンジ相場での利確値のポイント
① MA, もしくはBBミドルラインタッチで決済
② エントリーと逆の2σタッチで決済
③ レンジ上限、下限付近（サポレジ）での決済

逆張りの手法が有効に働く相場環境と注意点

- ①長期足(日足、4H足、1H足)で高値・安値の水平線が引けて、その一定の値幅の中で行ったり来たりしているレンジ相場。
- ②目を付けるべきポイントは短期足でトレンドの終了を見つけて入る事。
- ③サポレジ付近までしっかりと上昇、下落を確認して、ライン付近で仕掛ける。
- ④エントリーが早ければ早いほど、損切り値は浅く済むことを意識する。
- ⑤レンジ相場での方向転換を狙うので、方向性が変わらない=トレンド継続となれば躊躇なく損切りをすること。
- ⑥エントリータイミングは順張りとは真逆の発想の元で成立する手法となるので、混乱しないように注意する。
- ⑦長期足のレジサポライン(高値・安値)とBB±2σに重点を置いて相場状況を認識する。

※大きな流れに逆らわない逆張りは小さい値幅でのレンジ相場の攻め方に应用ができ、大きな流れに逆らった逆張りはトレンド転換での手法に应用ができますので、ぜひ、どちらのタイミングもしっかりとエントリーできるようトレーニングを積みましょう!